特別賞

■アーバンリフレッシュ賞

都市計画道路大町通り歩行者専用道路整備事業 （旭川市）

■表彰対象者：旭川市建設局

事業のあらまし

本事業は昭和53年に廃止された大町岐線跡地を利用して、老人から子どもまでが安全で快適に散策、憩い、遊べる小径として歩行者・自転車道、ジョギングコース、せせらぎ水路を組み合わせた遊歩道として整備を行う。

事業の効果

快適で安全な歩行者、自転車利用者の空間を創出し、市民の多種多様なリクレーションの需要に応え、健全な市民生活の活性化を図り、旭川市の目指す魅力ある街づくりの一翼を担う。

子供達で賑わう、水遊び場

せせらぎで分離された自転車道とジョギングコース

●延長：1,170m
●幅員：10m～48m
●全体事業費：858百万円
　うち街路事業費：830百万円
●事業期間：昭和61年度～平成元年度

■アーバンリフレッシュ賞

大博通りシンボルロード整備事業（博多駅築港線） （福岡市）

■表彰対象者：福岡市土木局

事業のあらまし

本事業は、福岡市制百周年記念事業のひとつとして、博多の歴史や文化の香りを感じさせる多数の歴史的出土品（レプリカ）を歩道空間に配置するなど、歩いて楽しめる「歴史の散歩道」を整備したものである。

事業の効果

博多駅前の「金印」から始まり那の津通り手前の福岡市が誕生した明治20年に描かれた錦絵までを19カ所展示しており、地元住民はもとより観光等の旅行者にも好評である。

●延長：1,960m
●幅員：50m（歩道10m）
●全体事業費：8,300百万円
　うち街路事業費：8,147百万円
●事業期間：昭和49年度～63年度

博多駅から博多港を望む

夜景

モニュメント

■にぎわいプロムナード賞

都市計画道路　中山道街路改良事業 （浦和市）

■表彰対象者：埼玉県住宅都市部

事業のあらまし

本事業は、古より五街道のひとつである中山道浦和宿として栄え、現在も浦和市の中心となっている街路を整備したものである。事業前は、総幅員約10mと狭いうえに歩道も設置されていなかった。事業では、現道拡幅するとともにキャブシステムによる電線類地中化や商店街の協力によるショッピングモール化事業を併せて行い、「ゆとり」や「潤い」のある都市空間を整備を行ったものである。

事業の効果

本路線の整備により、歩道と車道が分離され、歩行者の安全性が確保された。また、地元商店会で構成されたショッピングモール化委員会の協力により、地元主導による街路整備が行われたことで、地域に根ざした整備を行う事ができ、沿線商店会が活発となった。

整備後

整備前

●延長：535m
●幅員：15m
●事業費：4,026百万円
　うち街路事業費：4,026百万円
●事業期間：昭和48年度～平成7年度

■広々デザイン賞

都市計画道路　浦安橋明海線シンボルロード整備事業 （浦安市）

■表彰対象者：浦安市都市整備部

事業のあらまし

ＪＲ京葉線の開業を契機に、新浦安駅周辺地区では、新都心に相応しい都市景観形成をめざし、駅前広場や沿道の公園、緑地等が総合的に整備されており、シンボルロード整備事業は、新浦安駅周辺整備事業の中でも中心的なものである。

事業の効果

幅員15メートルの民間のセットバック用地のモール化や道路改修にあわせた公園、緑地、民間用地の一体整備を行い、ゆとりと潤いのある歩行者空間を確保したみどりの大通りとなった。

水辺を取り入れた歩行者空間

●延長：920m
●幅員：80m
●全体事業費：2,210百万円
　うち街路事業費：987百万円
●事業期間：昭和63年度～平成３年度
　（民間セットバック部分についてはH7.7完了）

シンボルロードに架かる歩道橋

周辺環境との調和に配慮したデザイン

●延長：300m
●幅員：22m
●全体事業費：1,920百万円
　うち街路事業費：1,920百万円
●事業期間：昭和61年度～平成２年度

■景観デザイン賞

都市計画道路　安浦下浦線街路整備事業 （横須賀市）

■表彰対象者：神奈川県土木部横須賀土木事務所

事業のあらまし

安浦下浦線は、横須賀市中心部と三浦市域を結ぶ、主要な幹線道路である。

受賞区間は現道を斜面側に拡幅する工事であるが、斜面頂部の住宅に影響を与えないよう、深礎擁壁及びアンカー併用もたれ擁壁にて施工した。

事業の効果

構造物に表面処理を施したり、各部に曲線デザインを用いることにより、大規模な構造物による威圧感を低減し、安全で快適な道路環境が創造できた。

■ふれあい空間賞

都市計画道路　桜橋線道路改良事業 （福井市）

■表彰対象者：福井市開発部

事業のあらまし

市中心部を流れている足羽川に『潤い』と『ゆとり』のある、市民のふれあえる橋をテーマとして、高欄は木目調とし、バルコニーや桁隠し、ボンボリ調の灯具を設け、堤防の桜並木や足羽山からの眺望に配慮した。

事業の効果

市民の散策路として親しまれる場所のため、照明器具の位置、色光などに配慮し、季節に応じたライトアップを行なうなど、橋が川面に映え、市民にふれあい空間を提供している。

ライトアップ

●橋長：127m
●幅員：12m
●全体事業費：1,283百万円
　うち街路事業費：1,034百万円
●事業期間：昭和63年度～平成元年度
　本事業は道路改良（二種）事業と中小河川改修事業との合併事業

全景